

作成日： 平成27年7月16日

守山まるごと活性化 議事要旨

作成者： 河井

会議名： 吉身学区まるごと活性化 歴史伝統中山道プロジェクト会議(第2回)

日時： 平成 27 年 7 月 1 日(水)

場所： 吉身会館 大会議室

出席者： 別紙のとおり

出席者(行政)： <吉身会館>高岡館長、河井主事<市役所>地域振興課：坪内課長、文化財保護課：川畑主査

使用資料： 別紙のとおり

議題

平成27年度の取り組みについて

会議要旨

内容

1 歴史文化資源の現在の取り組み状況

(1) 下之郷史跡公園について (文化財保護課)

下之郷遺跡は守山市第1号の国の史跡です(平成14年)。現在100回目の調査が行われているところで、服部の埋蔵文化財センターが遺跡発掘の拠点になっています。

下之郷史跡公園は平成20年からの3か年をかけて整備事業が行われ、平成22年秋にOPENしました。滋賀県で一番大きな環濠集落ということで全国的にも有名です。地元との繋がりも深いということで、大阪、奈良等から見学にこられます。

下之郷遺跡があるのは扇状地の末端部分に当たり、昔から非常に豊富な水資源で守られていて、2千年以上前の遺物(当時の食べたもの等)が保存状態も良く残っているということで、特に研究上注目されている遺跡です。

平成10年の都市計画道路を造っているときに次々と大発見があり、当時地下の遺構をどう保存するのか話題になりました。最終的に道路の工法は変更され、併せて現在も周囲を保全する取り組みを行っています。

集落の内部からは平地式の建物、倉庫や蔵、武館(豪族の首長が住まう場所)のような高床式の非常に大きな建物が見つかってきています。また、村の周りに大きな堀(幅で5m~8m)を巡らしているのも特徴でこのような遺跡は非常に少ない。どうしてこのような大きな堀を巡らすかというと、一つの材料として戦いの道具(銅製の剣や木製の盾、弓、戈の柄)が出土しています。自分

たちの村を自分たちで自衛、防御のため、川の氾濫へ備える防災の拠点、そういった工夫だったと思われます。

下之郷史跡公園第一次整備では環濠保存施設と多目的に使っていただける空間を設けました。外には環濠調査施設や地元や市内の子どもたちと一緒に当時の稲作づくりを体験してもらえよう実験水田、復元環濠を設けています。水は地下100mくらいのところから環濠に回して、石田川に流していく配慮がされております。吉身小学校の児童たちが毎年歴史学習にきたり、下之郷じいちゃんズや弥生織りの会等地元の方の協力のもと体験学習をおこなっています。

今年度の下之郷史跡まつりは11月15日に行います。

(裏面に続く)

決定事項

- ・中山道に関する取り組みから着手する
⇒中山道視察研修の実施

次回以降について

平成27年8月8日(土) 午前8時00分～ 中山道視察研修

会議要旨

内容

(2) 中山道関係

中山道守山宿の加宿として吉身は大きくなってきたところですが、守山学区でも同様に守山まるごと活性化に取り組んでいますし、中山道保存会での取り組みもあります。また、吉身学区自治会長会としましても近日行われます行政懇話会では、今なお残る沿道の町並みを生かした町歩きができるような歩道の整備について要望されます。

守山学区からは散策MAP等をつくるとなったならば、一緒にやっていかないかという投げかけもございます。

- ・ボランティアで守山市の観光ボランティアをしています。どう満足してもらうか考えると、吉身西の交差点までが本来の守山宿で、吉身小学校南の交差点までが吉身宿です。たまたま4月に吉身宿の測量をしました。吉身西の信号から慈眼寺、高札場までの地図に基づいて間口を調べました。現在の名前に当てはめてみると間口がほとんどあっていました。これらを体系的にまとめて吉身宿の地図を作りたいと考えています。

2 これからのプロジェクトの推進について

- ・その他吉身学区には住吉大社、慈眼寺等さまざまな神社仏閣がございますが、たちまちは下之郷と中山道を軸とした取り組みをすすめていただこうか、と考えているのですがいかがでしょうか。

《異議なし》

- ・これからのプロジェクトの推進に関してなにかございますでしょうか。
- ・まずは現場を確認してみれば、みなさんよくわかるのでは。
- ・駅前総合案内所に観光案内施設を作ろうという動きがあります。銀座、西町のあたりを回ってみては。
- ・守山学区では中山道の周辺の歴史資産を取り込んだMAP作りを考えておられる。伊勢遺跡、勝部の火祭り等。吉身学区も同じようにやっていければと思うのですが。
- ・守山学区と一緒にするには、吉身学区側は古い町並み(酒八、山本家他)もあまり残っていない…。先日歩いてびっくりした。
- ・古いものも残したいし道も綺麗にしてもらいたい。難しいところである。
- ・様変わりしてきましたのでね…。写真などが残っているならば後世に引き継いでいければと思う。
- ・中山道の昔の写真は残っていないだろうか。もしあれば、歩いてもらえるような看板を立ててみてもらうのはどうだろうか。今のままでは新しくなりすぎている。
- ・探せばあると思います。
- ・歩いていて楽しんでもらえるような仕掛け(看板)を設けてみてはどうだろう。
- ・推進員のみなさまはいかがですか？
- ・知名度の高いものから取り上げていったらよいのではないだろうか。
- ・吉身に住んで30年あまりになるが、慈眼寺を最近知った。まずは現地をみて知りたい。
- ・今の状態で歩いてもあまり値打ちが見出せない。全景や写真などをした看板などを置いとくか…。
- ・今の状態を確認にしてはどうか、というご意見もいくつかの方から出ていますので、次回は一度中山道を歩いてみたいと思いますが、いかがでしょうか。

《異議なし》